



江戸の阿呆  
咲き誇る



2026  
**6/27** 土

第一部 14:00～15:30 (13:30 開場)

第二部 17:00～18:30 (16:30 開場)

会場 セシオン杉並ホール

杉並区梅里 1 丁目 22-32

東京メトロ丸の内線「東高円寺駅」徒歩 5 分、「新高円寺駅」徒歩 7 分

出演 江戸っ子連 高円寺阿波おどり連協会

阿呆連 阿波おどり振興協会

飛鳥連 (友情出演) 高円寺阿波おどり連協会

入場料 5,000 円 / 1 公演、全席指定

チケットのお申し込みは特設ページをご覧ください

本年、結成 56 年目を迎える江戸っ子連。コロナ禍で叶わなかった結成 50 周年記念公演を 6 年という月日乗り越え、半世紀の大きな節目として遂に開催します。これまで支えてくださった皆様への感謝を込め、更なる高みを目指す江戸っ子連を披露いたします。

edokko-ren.tokyo/50th





## チケットのご案内

入場チケットはWebの  Ticket Dive 特設ページよりお求めいただけます。  
先着順での販売となります。予定枚数に達し次第終了となりますので、お早めにお申し込みください。



<https://ticketdive.com/event/50th-edokkoren>

## 出演連のご紹介



1970年に結成以来、半世紀以上の歴史を刻む高円寺阿波おどり江戸っ子連。本場、徳島の名門・阿呆連の唯一の姉妹連として、その代名詞である提灯を片手にした豪放闊達な「男踊り」、躍動的な差し手・差し足の中にしなやかさを宿す「女踊り」、そして阿波よしこのの静と動を自在に操る「鳴り物」。阿波おどりとという郷土芸能を真摯に伝承し、阿波の「心」と「音」を追求し続けています。



1948年発足。「阿波の阿の字は阿呆の阿の字」を掲げ、武士の心を踊り、正調阿波おどりを受け継ぐ阿呆連。浴衣の肩に染め抜かれた「破れ傘」の紋様は、結成以来変わることのない阿呆連のシンボルとなっています。徳島阿波おどり三大流派の一つ「阿呆調」の宗家として、阿波おどりの原点を探りながらも、常に時代に合った踊りを追求し続けるその姿は、国内外問わず絶大な人気を誇っています。



江戸っ子連と同じく1970年に結成。高円寺阿波おどりの創設に尽力した商店主たちが、「裏方として汗を流すだけでなく、踊る喜びを分かち合いたい」という熱い想いで立ち上げたのが飛鳥連です。徳島の最高峰「娯茶平」の姉妹連として、情感豊かな鳴り物と、優雅で美しい「娯茶平調」の踊りを継承しています。長年高円寺を共に盛り上げてきた盟友として、この記念すべき舞台に華を添えます。

## ご来場いただく皆様へお願いとご案内

### ■撮影・録音について

本公演では、舞台演出の都合および著作権保護のため、客席内での写真撮影・動画撮影・録音は、開演前後を問わず一切禁止とさせていただきます。スマートフォン等の電源は、あらかじめお切りいただくか、マナーモード(音・振動なし)に設定の上、カバンの中へおしまいください。

### ■公式記録撮影について

当日は主催者側が手配した専門のカメラマンが、記録および広報活動(SNS、Webサイト、DVD等)を目的として撮影を行います。客席内のお客様が映り込む場合がございますので、あらかじめご了承くださいませと幸いです。